

入試情報

入試日	願書提出	合格発表	内申点計算方法
<p>■学力検査: 3/10(木)</p> <p>■面接・実技検査等: 3/11(金)</p>	<p>一般出願 2/22(月)・23(火)</p> <p>本出願 3/2(水)・3/3(木)</p>	3/18(金)	<p>1年生9教科の成績 45</p> <p>2年生9教科の成績 45 ⇒180満点</p> <p>3年生9教科の成績×2 90</p>

教育のプロ
トライさん



傾向

各学校ごとに内申点と学力検査の得点比率を設けている。学校と学科によっては面接や作文、または小論文や実技試験がある。学力検査+内申の総合点で判定されるのではなく、それぞれ、学力検査の結果だけで順番に並べて判定、内申だけで順番に並べて判定される。一般出願の締め切りの後、志願状況が発表され、志願者は1回に限り志願先を変更できる。一般出願を見て、判断をし、本出願を行う。昨年度の特別選抜を除く入学者枠に対する平均倍率は1.00倍(前年同)。

科目別対策

英語

- 語数が多い約470語スピーチ読解と、対話文読解の対策が必須。
- 30語以上で書く英作文は、書ける単語で解答する練習をしよう。
- 英作文のコツは、理由や説明を書く定型文を押さえておくこと。
- リスニングを除くと解答時間は40分なので時間配分を意識しよう。

数学

- 小問集合の配点は30点と高いため、正確に速く解く練習をしよう。
- 関数、方程式、図形、規則性、証明など偏りなく対策すること。
- 証明問題や面積を求める問題の演習をしておこう。
- 使うべき公式を瞬時に判断できるように、多くの問題を解こう。

国語

- 漢字・文法や国語知識を整理して、書けるようにしておこう。
- 説明的文章は小問数が多いので、正確に解答する訓練をしよう。
- 古文と説明的文章の融合問題は難問なので、過去問演習が大切。
- 作文問題は指定の文字数で考えをまとめる練習をしておこう。

理科

- 各分野から偏りなく出題されるため、まんべんなく対策すること。
- 実験結果から考察やグラフを書く記述問題の対策が必須。
- 実験結果だけでなく操作の方法等も重点的に復習をしておこう。
- 用語だけでなく、過程や根拠を説明できるように練習しよう。

社会

- 地歴公がバランスよく出題されるため、偏りなく対策すること。
- 全分野、資料を読み取り条件に沿って記述する練習が必要。
- データをもとに自分の意見や考えを簡潔にまとめる力をつけよう。
- 暗記だけでなく、資料を読み解く練習をしておこう。